

社会学部報

◇学部研究会

- 59年10月31日 発表者 浅野仁助教授
「痴呆性老人に対する福祉対策の動向と課題
—国際比較の観点から—」
- 59年11月7日 発表者 アルバート・B. チ
ャーンズ英国ラフボロウ大学教授
“Impact of New Technology”
- 59年12月10日 発表者 ウィリアム M. エ
バン米国ペンシルバニア大学教授
“Interorganizational Dynamics of the Nuc-
lear Arms Race” (法学部研究会共催)
- 59年12月12日 発表者 鳥越皓之教授
「水質汚染と民衆意識」

◇学術講演会

- 59年11月19日 13:10~14:40 於2号教室
講 師 京都大学教育学部 河合隼雄教授
テーマ 「日本人のこころ」

◇会員の新書

- 中野秀一郎教授「社会学のあゆみ パートⅡ
新しい社会学の展開」(共編著) 昭和59年
11月 有斐閣
- 中野秀一郎教授「社会学原論—講義ノート」
昭和59年10月 仁川印刷所
- 春名純人教授「哲学と神学」
昭和59年12月 法律文化社
- 鳥越皓之教授「水と人の環境史」(共編著)
昭和59年10月 御茶の水書房
- I. M. ザイツェリン客員教授「ANCIENT
JUDAISM」
1984年 POLITY PRESS

◇海外出張

- 杉山貞夫教授 昭和59年11月9日から11月18
日まで、「国際人間工学会連合常任理事会出
席」のため、アメリカへ。
- 山路勝彦教授 昭和59年11月15日から11月22
日まで、「農村の実態調査」のため、中国へ。
- 宮田満雄教授 昭和59年2月21日から2月26
日まで、「世界 YMCA 同盟難民救済委員会
出席」のため、スイスへ。

学 会 消 息

◇日本時事英語学会

第26回年次大会は1984年10月6日(土)、7日(日)の両日、成蹊大学で開催。本学からは西尾朗教授が出席、大会第二日目の研究発表部門第一室の司会にあたった。

◇グループ・ダイナミクス学会

日本グループ・ダイナミクス学会第32回大会は、10月10日(水)、11日(木)の両日にわたって神戸大学文学部で開催された。本学部からは佐々木薫教授が「集団の生産性に関する実験的研究—成員の等質・異質性の効果について—」と題する研究報告を行った。

◇日本心理学会

日本心理学会第48回大会は、1984年10月12日(金)から14日(日)まで、大阪大学において開催された。本学からは田中國夫教授、広沢俊宗氏の共同研究で、「青年期における自己開示性と孤独感に関する発達の検討」を広沢俊宗氏が、「Equity 理論における加重モデルの検討」を井上和子氏が、「Group polarization phenomenon の実験的研究—課題の構造化及び成功・失敗経験の効果について—」を斎藤友理子氏がそれぞれ発表した。

◇日本社会学会

第57回日本社会学会は、昭和59年10月13日(土)、14日(日)の両日、龍谷大学深草学舎で開催された。この学会で本学の加藤春恵子教授は、第二日のテーマ部会、「差別の現象学」で、中野秀一郎教授は、一般研究報告の部会、「社会変動」でそれぞれ司会を担当した。萬成博教授は、第一日の「組織」の部会で、「工場組織の変化：1976—1983」について研究発表を行った。

本学会は、テーマ部会、「社会計画と社会指標」、「戦後改革と戦後社会意識」、「差別の現象学」「現代社会と宗教」について幅広い討論がなされ、意義深い大会を終了した。

◇日本社会福祉学会

日本社会福祉学会第32回大会は、1984年10月20日、21日、駒沢大学で開催された。今年のシンポジウムのテーマは「危機にたつ現代家族と社会福祉の課題」であった。自由研究報告では、本学部から浅野仁助教授が、「『痴呆性老人短期保護事業』利用者のケース・スタディ」、「特別養護老人ホーム寮母の態度・意識に関する研究(1)—自尊感情および老人についての知識・態度—」、「同(2)—仕事の内容、職場環境、勤務条件についての満足度—」それぞれの研究グループの一員として参画、また大学院生の山田裕子さんが「老人の在宅介護についての一考察—訪問看護とMSWの援助過程を中心に—」について報告した。

◇社会心理学会

日本社会心理学会第25回大会は、10月27日(土)、28日(日)の2日間新潟大学教育学部において開催された。第一日に行われたシンポジウムⅡ「社会心理学の過去・現在・未来」に本学部佐々木薫教授が指定討論者として参加した。

◇日本新聞学会

1984年度秋季研究発表会は、1984年11月10日(土)、日本大学で開催された。個人研究発表の他、パネル討論「新聞の環境監視機能—日本のジャーナリズム状況・その1」が開かれた。本学部からは津金沢聡広教授、加藤春恵子教授、芝田正夫助教授が出席した。

◇関西心理学会

関西心理学会第96回大会は、11月11日(日)、大阪教育大学天王寺分校にて行われた。

◇日本計画行政学会

日本計画行政学会第7回全国大会は、12月1、2日、筑波大学で開催された。大会共通テーマは「21世紀に向けて」であり、分科会のほか、「行政計画の実効性」、「高齢化社会」などのシンポジウムがもたれた。高田教授が参加した。

執筆 者 紹 介 (掲載順)

大 道 安 次 郎	名 誉 会 員	山 路 勝 彦	社 会 学 部 教 授
杉 原 方	社 会 学 部 教 授	山 本 剛 郎	社 会 学 部 教 授
高 田 真 治	社 会 学 部 教 授	鳥 越 皓 之	社 会 学 部 教 授
浅 野 仁	社 会 学 部 助 教 授	真 鍋 一 史	社 会 学 部 教 授
船 本 弘 毅	社 会 学 部 教 授	中 野 秀 一 郎	社 会 学 部 教 授
倉 田 和 四 生	社 会 学 部 教 授	柳 原 佳 子	社 会 学 部 大 学 院 研 究 員

社 会 学 部 研 究 会 々 員

会 長	武 田 建		
評 議 員	津 金 沢 聡 広	杉 山 貞 夫	牧 正 英
	中 野 秀 一 郎	村 川 満	高 田 真 治
会 計 監 査	田 中 国 夫	山 本 剛 郎	
書 記	小 倉 克 秋		
名 誉 会 員	青 山 秀 夫	大 道 安 次 郎	藤 原 恵
	本 出 祐 之	小 関 藤 一 郎	蔵 内 数 太
	岡 村 重 夫	清 水 盛 光	枋 原 知 雄
			(ABC 順)
普 通 会 員	杉 原 方	西 尾 朗	定 平 元 四 良
	嶋 田 津 矢 子	萬 成 博	領 家 穰
	倉 田 和 四 生	半 田 一 吉	遠 藤 惣 一
	佐々木 薫	森 川 甫	張 光 夫
	中 山 慶 一 郎	J. A. ジ ョ イ ス	宮 田 満 雄
	船 本 弘 毅	春 名 純 人	紺 田 千 登 史
	西 山 美 磋 子	安 田 三 郎	真 鍋 一 史
	加 藤 春 恵 子	山 路 勝 彦	鳥 越 皓 之
	安 藤 文 四 郎	芝 田 正 夫	浅 野 仁
	芝 野 松 次 郎		

関西学院大学社会学部研究会会則

- 第 1 条 本会は関西学院大学社会学部研究会とよぶ。
- 第 2 条 本会は社会学および隣接諸科学の研究ならびに会員相互の交流を計ることを目的とする。
- 第 3 条 本会は上記の目的を達するために次の事業を行う。
- 1 機関誌「関西学院大学社会学部紀要」の発行。
 - 2 研究会および講演会の開催。
 - 3 研究叢書の刊行。
 - 4 その他本会の必要と認める事業。
- 第 4 条 本会の会員は次の 3 種とする。
- 1 名誉会員 本会の特に推薦するもの。
 - 2 普通会員 本会社会学部専任の教授、助教授、講師および助手。
 - 3 賛助会員 以上の外申込のあったもの。
- 第 5 条 普通会員は年額 19,200円、賛助会員は年額 10,000円以上の会費を納めなければならない。納付済の会費は返還しない。
- 第 6 条 本会員および本会社会学部大学院生・学部学生は機関誌の配布を受ける。学生の講読費は昭和 56年度入学生より年額 1,600円とする。
- 第 7 条 本会に次の役員をおく。
- 1 会長（1名）は、社会学部長をもってあてる。
 - 2 評議員（6名）は、普通会員の中から互選し、本会の運営に当る。
 - 3 編集、会計、庶務の各委員は、評議員の中から互選する。
 - 4 会計監査（2名）は、普通会員の中から互選する。
 - 5 書記は、社会学部事務長に委嘱する。
- 第 8 条 本会役員任期は 2 年とする。重任を妨げない。
- 第 9 条 本会会計年度は 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終る。予算・決算は総会の承認を得なければならない。
- 第 10 条 総会は年 1 回とし、本会の重要事項を議決する。臨時総会の開催を妨げない。
- 第 11 条 本会は事務所を本会社会学部におく。
- 第 12 条 本会会則の変更は総会の議決によらなければならない。

＜編集後記＞

『社会学部紀要50号』をお届けします。今号は嶋田津矢子教授の定年退職記念号とさせていただきます。先生の永年に亘る御指導に心から感謝申し上げます。『社会学部紀要』の慣例として、論文掲載順序をこれまでは、一般教養・語学、理論、社会福祉、広報、産業という順番になっていたようですが、今回は記念号にちなんで社会福祉学に関わる諸論文をはじめに掲載させていただきました。御了承下さい。

また、本号は50号記念として、41号から50号までの総目次を掲載いたしました（1号～22号は22号に、23号～40号は40号に掲載済）。

この紀要の編集責任は社会学部研究会評議員会にあり、この評議員会が形式上の編集委員会に当たりますが、編集委員会という正式の名称はありません。実質的には、編集事務を主に海野雅経事務主任に担当いただき、事務室の皆様にも毎号大変なお世話になっております。このことを記して感謝し、また印刷・製本を担当いただきました関係各位に対し心から謝意を表したいと思います。

（津金沢）

60年 3月20日 印刷

60年 3月25日 発行

編集発行人 武 田 建
発行所 関西学院大学社会学部研究会
〒662 西宮市上ヶ原一番町
関西学院大学社会学部内
電話(0798)⁽⁵³⁾6111(代表)
_{(内線) 4212}

印刷所 尼崎印刷株式会社
〒660 尼崎市北大物町 25
電話 (06)481-0707(代)

KWANSEI GAKUIN

SOCIOLOGY DEPARTMENT STUDIES

(SHAKAIGAKUBU-KIYO, KWANSEI GAKUIN DAIGAKU)

No. 50

March 1985

The Study Association of Sociology Department

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

Nishinomiya, Japan
